

こんにちは、 日本共産党井上けんじです



日本共産党南地区委員会 ☎ 371-9164 自宅 ☎ (F兼) 691-3323 (携帯) 090-7880-9442

日本共産党京都市会議員団 ☎ 222-3728 FAX 211-2130

市会議員団ホームページ <http://cpgkyoto.jp/> E-mail info@cpgkyoto.jp 2020年3月15日号



↑「一人一点」とのことだが、その一点さえも入荷していない。

コンビニでも薬局でもトイレットペーパーやティッシュ、マスクなどが品切れ状態です。井上議員も薬局等を訪ねています。「注文はしてるが入ってこない」との現状です。

マスクがない、子どもが心配、売上げ激減、 仕事がなく賃金落込み、ホテル競争激化：

新型コロナウイルスの影響について、井上議員が市民の皆さんの声をお聞きしています。

※ ※

●ある保育園「マスクを配ってもらったが、使い捨てた後の補充がない。消毒液も足りない」。別の保育園「ウチの外国人の保護者からは『なぜ閉園しないのか。日本人は甘い』と言われる。自主的に登園を控えてもらっている家庭もある」

●学童保育は通常通り。家に居れない場合は学校へ登校可能なので、特に朝からやっているわけではない。児童館は、当面閉鎖だが、そのために、お母さんと乳幼児さんなどが来館できず、行くところが無い状態が続いている。ウチはまだましだが、市内にはスシ詰め学童保育もあり、「間隔を空けて」などと言われてもムリ。職員の子どものさんは小学校へ行っているが、弁当を作っているとのこと。

●市民から井上市議に電話。「施設だけでなく、在宅の高齢者にもマスクを配ってほしい。どこへ行っても品切れだと言われる。『一人一品までにして下さい』とのことだが、その一品すらない」

●首相が一律に「学校休め」というのはおかしい。各自自治体の教育委員会が各学校と相談して自主的に判断すればいいのではないかと。保育園が休まないのは親の就労保障の為にうのは分かるが、それなら学校でも同じだ。仕事を休んだら、パートの場合、直ちに収入減となってしまう。

●感染された方の勤務先の近所に住んでいるというだけで、私に對してまで、「近づかないで」と言う人がいる。●京都駅八条口タクシー乗り場にて運転手さん「待機場で3時間待ち。車が動かないので本を読んでいる。私らは個人タクシーで、半分、年金があるからまだましだが、会社の若い労働者はもっと大変だ」



早く皆で勉強したい

●そこで会社のタクシーの運転手さんに聞く。「水揚げは半分以下。そこから経費を差し引かれるので、手取りはもっと減る。最低賃金は14万円ぐらいだが、それを払うと会社がつぶれてしまう」

●ある診療所「『人の居る所を避けたいので薬だけ届けて下さい』という患者さんも。●ある介護事業所「当面、大きな問題は出ていないが、家にこもっておられる高齢者がおられ、今後が心配」

現状をお聞かせ下さい、ご意見・ご要望をお寄せ下さい。

日本共産党市会議員団も、特に教育や福祉関係者、中小零細企業・自営業や労働者の皆さんの声を市政に反映させる為、市への要請、申し入れ、そして勿論、議会で、市の対応や改善を求めています。